



シリーズ

躍動する子どもたち！

「地域探究・貢献活動編」

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184

東小学校



東小学校の6年生は、総合的な学習の時間に「庄原の未来をわたしたちの手で」と題し、東地区に引き継がれている「大踊り」や毎年実施される「ホタル祭り」に対する地域の皆さんの思い、地域の歴史について学習しています。

本年度は、学校運営協議会や東自治振興区の人たちと6年生児童が「東地区がこんな地域になったら」をテーマに話し合いの場を持ちました。

事前アンケートや話し合いを通して、地域の皆さんの「もっと元気で、子どもから大人まで仲の良い東地区にしていきたい」という思いが分かり、児童は地域の皆さんとグラウンドゴルフをしたり、「仲良くなりたのお茶会」を企画運営したりしました。

今後も、こうした学習を通して、地域で生きる自分たちを見つめていきたいと思っています。

比和中学校



比和中学校の3年生は「比和町の地域活性化」をテーマに学習を進め、「比和の特産品を使ったジビエバーガーの開発・販売」に取り組みました。地域の人から助言をいただきながら、地域のイベントでの販売を目標に試作を重ねてきましたが、食品衛生上の観点から、イベントでの販売は難しいことが分かりました。

そこで、地域の皆さんに相談を重ね、多くの人の支援の下、比和にある店舗で地域の人と協力して開発・販売する形に。イベントでは、告知のチラシを手渡しで配付し、当日は30分で完売する盛況ぶりとなりました。

中には、「声を掛けてもらったのがうれしくて、絶対に来ようと思っていた」と話す人もおられ、生徒も大きな達成感を得ることができました。

永末小学校



永末小学校の5年生は、総合的な学習の時間に「里山大作戦！～庄原の命のつながりを知り、守る～」をテーマに、庄原の自然環境の特徴や生息する生き物について調べています。

子どもたちにいちばん身近な「美湯の森」で林業体験をしたり、西城川に生息する「ゴギ」の生態調査活動に参加したりすることを通して、庄原の豊かな自然を守っていくために、自分たちには何ができるのかを考えながら学習を進めています。

児童は「森にはさまざまな機能があることが分かった。なくならないように大切にしたい」「みんなで協力して守っていきたい」など、これまでの体験を通して感じたことを振り返っていました。

今後は、豊かな自然を守るため、自分たちに何ができるのか、より具体的に考えていきます。

総領中学校



総領中学校の生徒は、12月6日に開催された「ヒューマンフェスティバル2025」に参加、発表しました。

1年生は「総領の知名度 アゲアゲ大作戦」と題し、ポケットティッシュと缶バッジに総領の魅力をデザインし、参加者に持ち帰っていただきました。

2年生は「労働体験から Our 探究へ」として、労働体験や、“働く”ことについて学んだことを劇にして発表しました。

3年生は、「My 探究・地域を考える」と題して、小・中学校から地域で学んできたことを基に、一人一人がテーマを設定し、発表しました。生徒は、発表を通して「地域の良さを未来につなげていきたい」と振り返っており、今後も、地域と協働した教育活動を進めていきます。